

平成29年度 第2回ノットホーム防災訓練実施報告

報告者 米田 正人

1. 期日 : 平成30年2月26日(月)

- ① 避難訓練 10:00~10:30
- ② 消火体験 11:30~11:45

2. 参加者

ノットホーム:	利用者避難者	22名	残留	6名	入院1名
	職員避難者	2名	応援者	2名	
	合計	24名			

タイム(8分24秒)

3. 内容

- ① 夜間出火想定(01:00)とする
(出火場所は、ノットホーム2ユニット洗濯室)
- ② 緊急時における初期消火の的確な判断と非難・誘導に重点を置く。
- ③ 消火器を扱った事がない職員は消火体験を行い、消火器の使い方を理解する。

消火器訓練参加者 ノットホーム 2名

4. 反省内容

(別紙内容)

* 防災訓練反省

古市職員、桑田職員

- ・誘導時、焦っていて応援者への声かけが十分に伝わらなかった。
- ・実際に経験してみても理解できたこともあり、本当の火災の場合は、訓練のようにはいかないと思うので日頃から意識を持つことが重要であると思った。
- ・排煙窓を開けていなかった。

米田部長より

- ・職員同士のコミュニケーションが不足していた。
- ・放送や連絡については、しっかり対応できていた。
- ・応援者への対応で、説明が不足していた。(誰を誘導すればいいのか。その方の身体状況等の情報を伝える。)

吉井施設長より

- ・今回の反省点を次回の訓練時に繰り返さないようにどうしたら次に活かせるかが重要です。

ユージー防災設備様より

- ・防火扉の意味をしっかりと理解すること。
- ・3ユニットの避難は「ちこす」を使った方がよかった。

その他

- ・定期的な消防設備の点検が必要(排煙窓が開かなかった)
※4月から月に1回の点検と年2回の排煙窓の開閉を実施していく。

